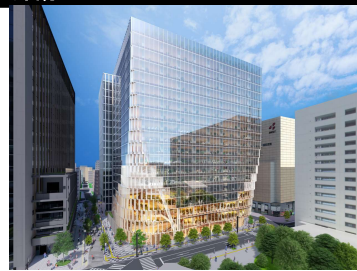


# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)天神ビジネスセンター2期8画	階数	地下2階地上18階塔屋2階
建設地	福岡市中央区天神一丁目76-1、76-2他20筆	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	4,200 人
地域区分	7地域	年間使用時間	6,570 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、飲食店、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月末 予定	評価の実施日	2023年8月21日
敷地面積	4,085 m <sup>2</sup>	作成者	前田建設工業
建築面積	3,514 m <sup>2</sup>	確認日	2023年8月21日
延床面積	62,948 m <sup>2</sup>	確認者	木曾昌志



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 83%  
③上記+②以外の 83%  
④上記+ 83%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
天神明治通り地区地区計画のまちづくりの方針に基づき、省エネルギー化や緑の配置などにより、環境負荷の低減を図る。		
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
感染症対策として、空調設備の換気量を建築基準法の1.75倍の35m <sup>3</sup> /h・人とする。	基準階事務室の天井高さを2.9m以上とすることで広々としたオフィスを実現する。免震構造を採用することで、安心・安全なオフィスを実現する。	敷地の内外に地上広場、地下広場や歩道状空気を整備し、景観にも配慮した建物デザインを採用することで、快適な市街地の実現を図る。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
自然換気を行うと共に、モニタリングにより効率的なシステムの運用を図る。	節水器具の採用や雨水利用により水資源の保護を図る。	シェアサイクルの設置スペースを設けることで、利便性の向上と交通負荷の抑制を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される